

経 済 日 誌

兵庫県

2025年7月～9月

7/7 25年上半期 県内倒産 333件

帝国データバンク神戸支店によると、25年上半期（1～6月）の県内企業の倒産件数は333件（前年同期比16・0％増）、負債総額は253億5200万円（同39・6％増）といずれも増加した。要因別では販売不振などの不況型倒産が303件と全体の91・0％を占めた。

7/17 25年上半期 神戸港輸出入総額過去最高

神戸税関が発表した25年上半期（1～6月）の神戸港貿易概況（速報）によると、輸出入総額が6兆1135億円（前年同期比4・6％増）と、比較可能な1979年以降の上半期として過去最高額を記録した。輸出、輸入とも上半期として最高額を更新した。

7/25 神戸空港 北京就航へ 9月28日から

神戸市などは、中国東方航空（CEA）が9月28日から神戸と北京（大興）線の国際チャーター便を1日1往復運航すると発表した。4月18日の神戸空港の国際化後、国

際チャーター便を定期運行する航空会社は5社目となる。

8/6 兵庫県人口539万人 前年比0・61％減

総務省が発表した住民基本台帳に基づく人口動態調査によると、今年1月1日時点の兵庫県の人口は539万3607人で、前年比3万3256人減（0・61％減）となった。神戸市の減少数は6882人と、全国の市区の中で北九州市に次いで多かった。

8/8 兵庫県内の最低賃金 時給1116円へ

兵庫地方最低賃金審議会は、25年度の最低賃金（時給）を1116円と64円引き上げるよう兵庫労働局長に答申した。この引き上げ額は昨年の51円を上回り過去最大となる。

8/8 県、神戸市 24年度決算相次ぎ発表

8日に神戸市が発表した24年度の一般会計の決算によると、歳入総額が9456億円、歳出総額が9307億円で、繰り越すべき財源を除いた実質収支は14億円の黒字だった。また、兵庫県は18日に発表し、歳入総額が2兆3822億円、歳出総額が2兆3684億円で、同じく58億円の黒字だった。

8/22 スパコン「富岳」後継機、日米共同開発へ

理化学研究所は、スーパーコンピュータ「富岳」の後継機の開発に米エヌビディアが参加すると発表した。海外企業が開発に加わるのは初めてであり、富士通とともに

人口知能（AI）向けの画像処理半導体（GPU）の開発を行う。

9/4 国際フロンティア産業メッセ 神戸で開催

9月4、5日の2日間、神戸国際展示場で西日本最大級の産業総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2025」が開催された。ドローンや四足歩行ロボットなどの実演展示のほか、水素100％燃料使用の「航空機用小型水素エンジン」の試作機など先端技術を駆使した製品が紹介された。

9/11 景況判断 7四半期連続の「下降」超

神戸財務事務所の県内法人企業景気予測調査によると、7～9月期の全産業の景況判断指数（BSI）は、前期比5・5ポイント改善したものの▲4・1と7四半期連続で下降超となった。10～12月期も全産業で下降超で推移する見通しとなっている。

9/12 100歳以上の高齢者 兵庫県全国6位

厚生労働省によると、全国の100歳以上の高齢者は前年比4644人増の9万9763人となり、55年連続で過去最多を更新した。都道府県別では、東京都が最多で8150人、兵庫県は6位の4109人だった。

9/16 兵庫県 地価 住宅地3年連続上昇

兵庫県が発表した7月1日時点の基準地価によると、県内住宅地の平均は前年比+1・5％と3年連続上昇した。商業地は4年連続、工業地は5年連続の上昇だった。